

第76回 秦野たばこ祭

炎が舞い
光が奏でる

はだのふるさと大使が各種行事に参加!



秦野たばこ祭
エグゼクティブアドバイザー
吉田 栄作
24日 16:10～
はだのふるさとステージ



元女子プロ野球選手
加藤 優
23日 13:10～
オープニングパレード



LUNA SEA **真矢**
23日 16:10頃～ 御輿パレード
18:45頃～ ジャンボ火起こし
綱引きコンテスト
24日 19:00～
弘法の火祭

オープニングパレード
23日 13:10～

絆ステージ 24日 17:15～



はだのブランドアンバサダー
立石 純子



じゅん&ネネ



三田 杏華



石原 まさし

※主催者及び出演者の都合により、出演者や時間に変更になる場合があります。

2023.
9.23 土 24 日

小田急線秦野駅下車 **会場** 秦野市役所・本町小学校・本町四ツ角周辺

主催: 秦野たばこ祭実行委員会



秦野たばこ物語 ～たばこ祭の由来を紐解く～

かつて、秦野地域は葉タバコの産地として有名で、市内にはタバコ耕作を行う農家がたくさんあり、タバコを買い上げる国の専売所とタバコ耕作の技術を向上させるための試験場がありました。

秦野たばこ祭は、秦野煙草民謡(後の「秦野たばこ音頭」)の公募などとともに、昭和23年(1948年)、神奈川県煙草耕作組合連合会の創立25周年の記念事業として始まった祭りで、タバコ耕作が一段落して、葉タバコの納付が始まる時期に耕作者をねぎらうためのものでした。

その後、戦後の商店街の復興などを目的として、商業者が積極的に関わるようになります。秦野市が誕生した昭和30年(1955年)あたりから、祭りは商店街の活性化とともに、市の観光事業として位置付けられるようになり、主催も市を中心とした実行委員会に移っていき、「たばこ耕作者の祭り」から「市民の祭り」へと変化していきました。

昭和59年(1984年)に市内でのタバコ耕作は幕を閉じましたが、市の発展を担ってきたタバコ耕作の歴史を後世に伝えるため、祭りの名称は変えることなく、新たなスタイルへと移行し、昭和62年(1987年)の第40回からは、「火」をテーマに弘法の火祭やジャンボ火起こし綱引きコンテストなどの催しが行われるようになりました。

こうして、より楽しく市民が参加できる祭りとして、秦野たばこ祭は今日に引き継がれているのです。



第1回秦野たばこ祭

生涯学習課

ごあいさつ

虫の音にも秋の気配が感じられ、秦野盆地に爽やかな季節が訪れました。

本市最大の観光イベントであります「秦野たばこ祭」が、市民の皆様をはじめ、多くの事業所及び関係機関の皆様の温かいご協力、ご協賛をいただき、開催できますことを心からお礼申し上げます。

豊かな自然に恵まれた本市は、江戸時代から葉たばこの名産地として知られ、「秦野たばこ」はその優れた栽培技術で日本三大銘葉に数えられました。本市の発展に大きな役割を果たしてきた「葉たばこ耕作」は、昭和59年に300年余の長い歴史に幕を閉じましたが、先人たちが「葉たばこ耕作」に注いだ情熱は、私たち秦野市民の心の中に受け継がれています。

先人たちの情熱は、人が変わり時代が流れても、秦野市民の手で受け継がれ、松明の炎となって燃え上がり、らんたんの灯りや大輪の花火とともに秦野の宵の街を明るく照らします。

4年ぶりの通常開催となる今年は、「たばこ祭」の原点である「火」をテーマとして行事を展開し、秦野市民が主役となり、祭りを盛り上げます。

また、本市にゆかりのある「はだのふるさと大使」をお招きし、趣向を凝らした演出により、祭りに花を添えていただきます。

「炎が舞い 光が奏でる 秦野たばこ祭」
多くの皆様のご来場を心からお待ちしております。

秦野たばこ祭実行委員会会長

秦野市長 高橋昌和



主催: 秦野たばこ祭実行委員会 ☎0463-82-5111
<https://www.city.hadano.kanagawa.jp/>

後援: 神奈川県・(公社)神奈川県観光協会・日本たばこ産業(株)・小田急電鉄(株)
神奈川中央交通(株)・神奈川中央交通西(株)・東海大学・上智大学短期大学部・秦野市自治会連合会
秦野市商店会連合会・秦野市西商店会連合会・秦野商工会議所・(一社)秦野市観光協会・秦野市